

発明の名称:A(H1N1)pdm09インフルエンザウイルス感染による  
気管支喘息の予防又は改善剤

利用・用途・応用分野

小児気管支喘息の予防・治療、インフルエンザウイルス感染における重症化の予防

目的・課題

2009年に世界的に大流行した新型インフルエンザA(H1N1)pdm09感染による気管支喘息の予防・改善剤や増殖抑制剤を提供すること。

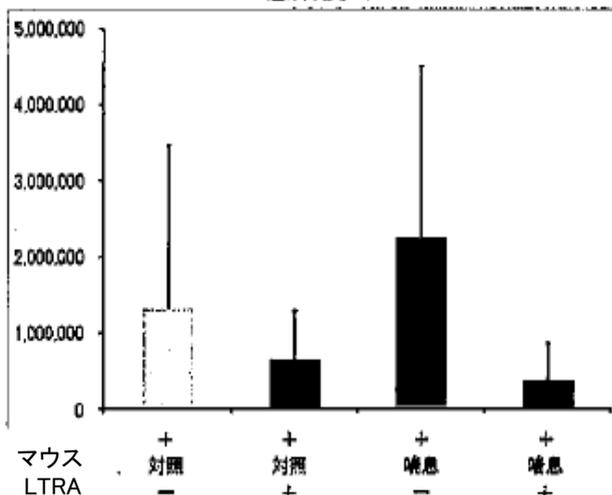
解決ポイント

◆卵白アルブミンを用いて気管支喘息モデルマウスを作製、ロイコトリエン受容体拮抗薬(leukotriene receptor antagonist以下「LTRA」)を投与、A(H1N1)pdm09を感染させBAL液中の炎症細胞浸潤、サイトカイン産生ウイルスカ価について検討

【結果】

LTRAを投与することにより炎症性細胞浸潤の抑制、サイトカイン産生の抑制、A(H1N1)pdm09の増殖抑制効果を見いだした  
◆ロイコトリエン受容体拮抗薬は、プラナルカスト水和物、ザフィルルカスト、モンテルカストナトリウムが好ましい。

プラナルカストによるBAL中ウイルス増殖抑制効果  
～感染後3日～



研究概要・アピールポイント

- ◆A(H1N1)pdm09感染による小児(15歳以下)気管支喘息の予防又は改善や、A(H1N1)pdm09インフルエンザウイルスの増殖抑制が可能となる。
- ◆本薬剤の特徴は重篤な有害事象の頻度が低く、極めて安全性の高い薬剤である
- ◆A(H1N1)pdm09流行時に感染前後に投与することにより、喘息発作の重篤化予防が期待できる。
- ◆小児気管支喘息患者のQOL改善だけでなく医療費削減にもつながる。

◆ お問合せ先 ◆

有限会社山口ティールオー TEL: 0836-22-9768 E-mail:tlojim@yamaguchi-u.ac.jp